

区民参加型
いきもの情報共有事業業務委託
報告書

令和3年3月

株式会社 セルコ

1. 業務内容

1-1. 自然・いきものさがし

一定の調査期間を定め、区民等から、区内で見つけた植物・鳥類・昆虫類や外来生物等を報告してもらう形式の全区民参加型の調査を実施した。

(1) 調査期間

令和2年9月1日（火）から令和3年1月31日（日）

(2) 参加対象者

参加対象者は、区内在住・在学・在勤者等の板橋区内においていきものの記録を報告できる者とした。

(3) 調査対象種

調査対象種は、外来種を含む植物（主に種子植物等）、鳥類、昆虫類、その他（ほ乳類、両生類、は虫類等）とした。

(4) 調査方法

区内で見つけた対象種について参加者から報告を受けた。報告は、スマートフォン、パソコン、調査用紙等を使用し、Webサイト、Eメール、郵送等で区を窓口として受け付けた。受託者は、区からその情報・データ等の提供を受けた。なお、Webサイト及びEメールは、区で作成したものを使用した。

(5) 業務内容

①周知用チラシの作成

チラシ：A4版 片面 フルカラー 17,000部

②調査方法等を示した調査ガイド及び調査用紙の作成

調査ガイド：A3版 2つ折り両面 フルカラー 2,000部

調査用紙：電子データによる提出

③調査報告の取りまとめ

調査終了後、速やかに調査結果の取りまとめを行った。

1-2. 自然観察会及び報告会

自然・いきものさがしに関連した区民参加型の自然観察会を2回、報告会（パネル展）を1回開催した。

1-3. ニュースレターの作成及び発送

自然・いきものさがしの調査結果や自然観察会、区内の自然に関するコラム等について、自然・いきものさがし及び自然観察会の参加者にニュースレターを発送した。

1－4．環境省「いきものログ」の活用

自然・いきものさがしの調査結果や自然観察会で見られた生き物を環境省「いきものログ」に登録した。

1－5．アライグマ・ハクビシンマップの作成

区から貸与をうけたアライグマ・ハクビシンの被害件数をもとにマップを作成した。



区内のいきものを見つけよう！

いたばし 自然・いきものさがし

調査・報告期間

2020年 **9**月 **1**日
～ 2021年 **1**月 **31**日

たくさんの報告を
お待ちしております♪



みなさんからの情報をもとに、板橋区内に生息する生き物の状況を調査します。
植物、昆虫、鳥など、区内で見つけた生き物の情報や写真をお寄せください。調
査結果は、来年3月発行予定のニュースレターやホームページで報告します。

報告方法

1 報告フォームに入力する



板橋区 いきもの



報告フォーム




2 報告用紙を送る

報告用紙は、ホームページ、環境政策課で入手できます。

- ① Eメールで送る
- ② 郵送する
- ③ 区役所に持参
(平日 9:00～17:00)



いきものさがしの
ホームページ




【報告用紙の送り先・お問合せ】

〒173-8501 板橋区板橋 2-66-1 板橋区 環境政策課 自然環境保全係（区役所 7 階㊟窓口）
TEL：03-3579-2593 Eメール：s-ikimono@city.itabashi.tokyo.jp

図 1-1 周知用チラシ

区内のいきもの見どころマップ

パッチワークの風景

パッチワークの風景を満喫できるスポットです。

自然の豊かさ

自然の豊かさを満喫できるスポットです。

自然の豊かさ

自然の豊かさを満喫できるスポットです。

自然の豊かさ

自然の豊かさを満喫できるスポットです。

注意事項

- 小学生は大人といっしょに出かけましょう。
- 安全に十分注意して観察しましょう。
- 古びたな場所や他人の土地に入らないようにしましょう。
- 安全のため、盲導犬、盲導犬、視覚障害者の方には近づきません。
- 虫やハチ、ヘビのなかに近づきません。

発行：環境部 環境政策課 自然観察推進課
TEL：03-3579-2381

2020年度調査ガイド

いたばし 自然・いきものさがし

「自然の豊かさ」を満喫できるスポットをさがす！

調査・報告期間
2020年9月1日～2021年1月31日

調査区域
新橋区内全域

※ご自宅で実施できます

いきもの見つけ方を報告しよう！

1. 報告フォームで送る
 - 報告フォームは、ホームページにも載っています。
2. 報告用紙で送る
 - 報告用紙は、ホームページ、報告用紙（印刷用紙）で入手できます。

TEL：03-3579-2381

E-MAIL: itabashi@city.tokyo.lg.jp

いたばし いきものミニ図鑑 (秋～冬編)

昆虫類

トンボの仲間			
アゲハチョウ 4～11月、幼虫は木や草の葉に卵を産みます。	ノシメトンボ 4～11月、羽化後トンボです。	ウスバキトンボ 4～11月、羽化後トンボです。	シオカラトンボ 4～10月、メス様を産みます。
チョウの仲間			
キタキチョウ 1～4月	モンシロチョウ 3～11月	ツマグロヒョウモン 4～11月、オスの翅は黒く白帯があります。	アカボシゴマダラ 5～10月、羽化後赤帯があります。
甲虫類・コオロギ・バッタの仲間			
クビキリギス 4～11月、羽化後。	マダラズ 4～11月、羽化後。	エンマコオロギ 4～11月、羽化後。	オンブバッタ 4～11月、羽化後。
ジョウリョウバッタ 4～12月、羽化後。	イガバッタ 3～11月、羽化後。	トノサマバッタ 4～10月、羽化後。	
かまきり類		うもろこし類	
オオカマキリ 3～11月、羽化後。	ハラヒロカマキリ 3～10月、羽化後。	ジョウロウゴ 4～11月	

動物類

トンボムシの仲間				カメムシの仲間			
アオシロアゲハ 4～11月、羽化後。	オシロアゲハ 4～11月、羽化後。	キマダラカメムシ 4～11月、羽化後。	ヨコジナカメムシ 4～11月、羽化後。				
鳥類							
ホシハジロ 10～3月	キンクロハジロ 10～4月	オナガの毛 10～4月	コササギ 10～4月	コシカサギ 10～4月			
ハクセキレイ 3～4月	シジュウカラ 1～4月	ツグミ 1～4月	ツグミ 10～4月	メジロ 1～4月			
両生類							
ヒガシニホシツグミ 4～10月、羽化後。	ニホシツグミ 4～10月、羽化後。	ニホシツグミ 4～10月、羽化後。	ミシジキアマガエル 4～11月				
植物類							
ヒガンバナ 8～10月	コヒンダンツグミ 10～11月、羽化後。	ノゲシ 10～11月	スズキ 10～11月	マナバシ 10～11月、羽化後。			

図 1-2 調査方法等を示した調査ガイド (上段 P1・4、下段 P2・P3)

いたばし自然・いきものさがし 報告用紙						
調査・報告期間：令和2年9月1日～令和3年1月31日						
◆あてはまるところを○でかこんでください 10歳未満 / 10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上				◆どちらかを○でかこんでください 調査結果をまとめたニュースレターの送付（3月発行予定） 希望する / 希望しない		
	みつけた 月日	みつけた場所	観察した 人数	いきもの名前	観察したこと (数、何をしていたかなど)	写真 ※あれば ○
例	9/10	赤塚溜池公園 <small>※具体的な場所名または丁目までの住所を書いてください</small>	2	シオカラトンボ	2匹で池の周りを飛んでいた。	○
1	/					
2	/					
3	/					
4	/					
5	/					
6	/					
7	/					
8	/					
9	/					
10	/					
11	/					
12	/					
◆報告用紙の送り方 ①Eメール（一度に5MBまで） ②郵送 ③持参（平日 9:00～17:00）			【送り先・問合せ】 〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 板橋区 環境政策課 自然環境保全係（区役所7階⑩窓口） Eメール：s-ikimono@city.itabashi.tokyo.jp 電話：03-3579-2593			
令和元年5月24日付け自然・いきものさがし(区民参加型いきもの情報共有事業)規約に同意し、了承のうえ、本調査用紙(ある場合は写真)を送付いたします。						
お名前		Eメール				
お電話		ご住所		〒		
※写真送付の際は、連絡先をご記入ください。連絡先が不明の場合、送付いただいた写真等は本事業で使用できません。 ※未成年の方がお送りになった場合は、法定代理人(例えば親権者)の方にご連絡することがあります。						

図 1-3 調査用紙

2. 業務の報告

2-1. 自然・いきものさがし

(1) 参加者数

本年度の参加者数（累計）は、810 人（累計）であった。

届け出別方法では、フォームからの投稿が 423 人、メールが 302 人、窓口への持参が 85 人であった。

(2) 調査報告数

2,714 件（558 種）の報告が得られた。

これらを分類群別に集計したものを表 2-1-1 に示す。報告件数は昆虫類が最も多く、植物、鳥類と続いた。

各分類群には、種名が同定できない場合でも、大まかな分類が行えるものを含んでいる。なお、不明には、該当する種名がない上に写真が添付されておらず判別不能なもの、記載されたいきもの名前に同名の植物・昆虫類が存在するものが含まれる。

表 2-1-1 分類群別の集計

分類	植物	ほ乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	その他	不明	計
件数	769	4	709	25	3	1,129	73	2	2,714
割合	28.33%	0.15%	26.12%	0.92%	0.11%	41.60%	2.69%	0.07%	

また、ニュースレター及びパネルには 2,709 件（568 種）と記載されている。10 種の差違については、報告書作成に至るまでの検討の結果、以下の①～⑩を集約したことが要因である。

また、投稿数 5 件の差が生じているが、ニュースレター及びパネルの作成後、追加投稿 5 件分が新たに追加されたためである。

- ①セイヨウタンポポ→「タンポポ属の一種」にまとめた。
- ②タンポポ→「タンポポ属の一種」にまとめた。
- ③オナガドリ→該当種がなく、種名不明のまま保留にしていたが精査の結果「オナガ」とした。
- ④ヤマバト→該当種がなく、種名不明のまま保留にしていたが精査の結果「キジバト」とした。
- ⑤アオヘリイラガ→該当種がなく、種名不明のまま保留にしていたが、精査の結果「イラガ亜科の一種」に含めた。
- ⑥キマダラソウ→該当種がなく、植物の一種としていたが、その後の精査で昆虫類の「キマダラチョウ」の誤変換であると判明した。しかしながら、「キマダラチョウ」に該当する種がなく「チョウ目の一種」に含めた。

- ⑦コスズメバチ→該当種がなく、種名不明のまま保留にしていたが、精査の結果「コガタスズメバチ」に含めた。
- ⑧シジミチョウ→該当種がなく、種名不明のまま保留にしていたが、精査の結果「シジミチョウ科の一種」に含めた。
- ⑨ジャノメチョウ→区部では1990年に絶滅しており、誤認の可能性が高いため「ジャノメチョウの一種」とした。
- ⑩ミノムシ→「ミノガの一種」にまとめた。

(3) 報告種数

種名を確認できたいきものは558種であった（一部「～類」としてまとめたものを含む）。これを分類群ごとに集計したものを表2-1-2に示す。

報告件数と同様に昆虫類の種数が最も多く288種であった。

昆虫類について種数が多かったのは植物で161種、ついで鳥類の64種となっていた。調査報告数では植物及び鳥類が700件以上であったが、報告種数を比べると植物と比較して鳥類は少なかった。

表 2-1-2 種別の集計

分類	植物	ほ乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	その他	計
件数	161	5	64	6	1	288	33	558
割合	28.85%	0.90%	11.47%	1.08%	0.18%	51.61%	5.91%	

続いて、分類群ごとの種別報告種を投稿数が多い順に集計したものを表2-1-3～表2-1-8に示す。なお、種数の少ないほ乳類・は虫類・両生類・その他の種は「その他」としてまとめた。

表 2-1-3 植物：種別報告種の投稿数が多い順 (1/2)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
1	カタバミ	45	45	ツルボ	2
2	ツユクサ	43	45	カキノキ	2
3	エノコログサ	42	45	カンタン	2
4	タンポポ属の一種	40	45	スダジイ	2
5	ノゲシ	39	45	エノキグサ	2
6	ヤブガラシ	38	45	ガガイモ	2
6	ドクダミ	38	45	カラスウリ	2
8	ヨモギ	28	45	アレチヌスビトハギ	2
9	オオバコ	25	45	オヒシバ	2
10	クズ	23	45	チチコグサモドキ	2
11	コヒルガオ	21	45	マルバルコウソウ	2
12	オニタビラコ	19	45	イヌタデ	2
13	スズメノカタビラ	18	45	ウバユリ	2
14	ミズヒキ	16	45	シマスズメノヒエ	2
14	イヌビエ	16	45	ムラサキツメクサ	2
16	ヒガンバナ	14	45	ナガミヒナゲシ	2
16	カナムグラ	14	63	レッドオーク	1
18	シロツメクサ	13	63	プラタナス	1
19	ハハコグサ	11	63	トウネズミモチ	1
20	トキワハゼ	10	63	オニノゲシ	1
20	コハコベ	10	63	アオギリ	1
22	チヂミザサ	9	63	クリ	1
23	チカラシバ	8	63	ムクノキ	1
23	ツメクサ	8	63	マツバラン	1
23	ベニシダ	8	63	シロテングダケ	1
26	セイタカアワダチソウ	7	63	スベリヒユ	1
27	ヒメジョオン	6	63	ゴウシュウアリタソウ	1
28	マテバシイ	5	63	ムラサキシキブ	1
28	キクイモ	5	63	ヒヨドリジョウゴ	1
28	コセンダングサ	5	63	アイビー	1
28	ススキ	5	63	アカジソ	1
32	アレチウリ	4	63	アカメガシワ	1
32	ヘクソカズラ	4	63	アベリア	1
32	キンミズヒキ	4	63	イノコズチ	1
32	ヨウシュヤマゴボウ	4	63	ウラジロチチコグサ	1
32	ジャノヒゲ	4	63	オオアレチノギク	1
32	ヘビイチゴ	4	63	オッタチカタバミ	1
38	オオブタクサ	3	63	カヤツリグサ	1
38	ヤブミョウガ	3	63	ゼニアオイ	1
38	コミカンソウ	3	63	ニシキソウ	1
38	アサガオ	3	63	ハゼラン	1
38	オシロイバナ	3	63	ハルジオン	1
38	ハリエンジュ	3	63	ヒメムカシヨモギ	1
38	セイバンモロコシ	3	63	フヨウ	1
45	コナラ	2	63	メヒシバ	1
45	ワルナスビ	2	63	ヤブラン	1

表 2-1-4 植物：種別報告種の投稿数が多い順 (2/2)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
63	アズマネザサ	1	63	アメリカタカサブロウ	1
63	アマチャヅル	1	63	ヒメツルソバ	1
63	イヌホオズキ	1	63	ヒルガオ	1
63	イヌムギ	1	63	カラスビシャク	1
63	カラムシ	1	63	ネジバナ	1
63	カロリナアオイゴケ	1	63	ヤツデ	1
63	コムラサキ	1	63	センニンソウ	1
63	ジュズダマ	1	63	オニドコロ	1
63	ナガバギシギシ	1	63	ノササゲ	1
63	ヌスビトハギ	1	63	ヤマノイモ	1
63	ノビル	1	63	ヤブマメ	1
63	ハグロソウ	1	63	フラサバソウ	1
63	ハナタデ	1	63	ヤエムグラ	1
63	ミズタマソウ	1	63	オヤブジラミ	1
63	ムカゴイラクサ	1	63	カラスノエンドウ	1
63	ヤナギイノコヅチ	1	63	ヒメオドリコソウ	1
63	ヤブタバコ	1	63	ムラサキケマン	1
63	ヤブツバキ	1	63	ニリンソウ	1
63	ヨメナ	1	63	ナツツタ	1
63	イグチ目の一種	1	63	センダングサ属の一種	1
63	ケヤキ	1	63	ウマノアシガタ	1
63	ピンオーク	1	63	ハキダメギク	1
63	ユリノキ	1	63	アメリカイヌホウズキ	1
63	アメリカハナノキ	1		種数	161
63	ナンキンハゼ	1			
63	クヌギ	1			
63	チャノキ	1			
63	シラカシ	1			
63	ハゼノキ	1			
63	カニノツメ	1			
63	スギタケ	1			
63	クスノキ	1			
63	オギ	1			
63	エノキ	1			
63	クコ	1			
63	カントウヨメナ	1			
63	ウシハコベ	1			
63	ギシギシ	1			
63	スイバ	1			
63	コマツヨイグサ	1			
63	ワレモコウ	1			
63	キンエノコロ	1			
63	アキノエノコログサ	1			
63	ヒナタイノコヅチ	1			
63	ヨシ	1			
63	クサネム	1			

表 2-1-5 鳥類：種別報告種の投稿数が多い順

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
1	ヒヨドリ	82	39	ハト科の一種	2
2	シジュウカラ	75	49	アオジ	1
4	メジロ	46	49	アトリ	1
5	オナガ	44	49	アリスイ	1
6	ハクセキレイ	36	49	イソシギ	1
7	カルガモ	33	49	イソヒヨドリ	1
7	ムクドリ	33	49	オカヨシガモ	1
9	キジバト	30	49	カシラダカ	1
10	キンクロハジロ	21	49	キジ	1
11	スズメ	19	49	スズガモ	1
12	ダイサギ	18	49	セッカ	1
13	アオサギ	16	49	ハイタカ	1
13	オオバン	16	49	ハンビロガモ	1
13	カワウ	16	49	ハヤブサ	1
16	コサギ	14	49	マヒワ	1
17	カワセミ	13	49	マミチャジナイ	1
17	ホシハジロ	13	49	メボソムシクイ	1
19	オナガガモ	12	49	ヤマシギ	1
19	コゲラ	12		種数	64
21	カイツブリ	11			
21	マガモ	11			
23	ヒドリガモ	10			
24	ゴイサギ	9			
25	ジョウビタキ	8			
25	ワカケホンセイインコ	8			
27	キセキレイ	7			
27	ツグミ	7			
27	ハシブトガラス	7			
27	バン	7			
31	エナガ	6			
31	コガモ	6			
31	ユリカモメ	6			
34	モズ	5			
35	オオタカ	4			
35	カワラヒワ	4			
35	ドバト	4			
35	ヤマガラ	4			
39	カラス属の一種	2			
39	キビタキ	2			
39	ノスリ	2			
39	セグロセキレイ	2			
39	ハシボソガラス	2			
39	ウグイス	2			
39	ツミ	2			
39	シロハラ	2			
39	ホオジロ	2			

表 2-1-6 昆虫類：種別報告種の投稿数が多い順 (1/4)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
1	キタキチョウ	40	43	ミツカドコオロギ	6
2	モンシロチョウ	37	43	ミノガ科の一種	6
3	オオカマキリ	33	43	ムラサキツバメ	6
4	ナミアゲハ	32	43	モンキチョウ	6
5	エンマコオロギ	31	51	アメンボ	5
6	ツクツクボウシ	29	51	ウスバキトンボ	5
7	オンブバッタ	28	51	ウラナミシジミ	5
7	ヤマトシジミ	28	51	エビガラスズメ	5
9	シジミチョウ科の一種	25	51	カメムシ目の一種	5
9	ツマグロヒョウモン	25	51	クサカゲロウ	5
11	キマダラカメムシ	22	51	クロアゲハ	5
12	ハラビロカマキリ	20	51	ツユムシ	5
12	ミンミンゼミ	20	51	ナツアカネ	5
14	アブラゼミ	19	51	ホシホウジャク	5
14	ナミテントウ	19	61	オオスカシバ	4
16	ツツレサセコオロギ	17	61	ギンヤンマ	4
16	マダラスズ	17	61	ジャノメチョウ亜科の一種	4
18	トノサマバッタ	16	61	セスジツユムシ	4
19	アカボシゴマダラ	15	61	ハネナガイナゴ	4
20	キタテハ	13	61	ヒメハラナガツチバチ本土亜種	4
20	シオカラトンボ	13	61	ホソヒラタアブ	4
22	アキアカネ	12	61	ヨコヅナサシガメ	4
22	カネタタキ	12	69	アカスジキンカメムシ	3
22	ショウリョウバッタ	12	69	アカネ属の一種	3
25	ハラオカメコオロギ	11	69	アジアイトトンボ	3
26	イチモンジセセリ	10	69	オオスズメバチ	3
26	クビキリギス	10	69	キイロテントウ	3
26	コバネイナゴ	10	69	キマダラセセリ	3
26	ナナホシテントウ	10	69	キリギリス属の一種	3
30	イボバッタヒメジャノメ	9	69	クマゼミ	3
30	シロテンハナムグリ	9	69	クルマバッタ	3
30	ヒメジャノメ	9	69	クロウリハムシ	3
33	アオスジアゲハ	8	69	コカマキリ	3
33	ウラギンシジミ	8	69	サトキマダラヒカゲ	3
33	コガタスズメバチ	8	69	シモフリスズメ	3
33	セスジスズメ	8	69	スズメバチ科の一種	3
37	アオドウガネ	7	69	セイヨウミツバチ	3
37	オオウンモンクチバ	7	69	チョウ目の一種	3
37	コムスジ	7	69	トンボ目の一種	3
37	チャバネセセリ	7	69	ナガサキアゲハ	3
37	ツチイナゴ	7	69	ハラナガツチバチ	3
37	ヒメアカタテハ	7	69	ホシササキリ	3
43	アオマツムシ	6	69	ホタルガ	3
43	キアゲハ	6	69	ムラサキシジミ	3
43	ヒカゲチョウ	6	69	ルリタテハ	3
43	ベニシジミ	6	69	ルリチュウレンジ	3

表 2-1-5 昆虫類：種別報告種の投稿数が多い順 (2/4)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
93	アケビコノハ	2	135	アオモンイトトンボ	1
93	イナゴ科の一種	2	135	アカシマサシガメ	1
93	イナゴ属の一種	2	135	アメリカシロヒトリ	1
93	イラガ亜科の一種	2	135	アメリカミズアブ	1
93	イラクサギンウワバ	2	135	イエバエ	1
93	エゾギクトリバ	2	135	イセリアカイガラムシ	1
93	オオシオカラトンボ	2	135	イトカメムシ	1
93	オオミズアオ	2	135	イボタロウムシ	1
93	オオヨコバイ	2	135	ウスイロササキリ	1
93	カマキリ目の一種	2	135	ウスチャヤガ	1
93	カメムシ亜目の一種	2	135	ウスバカゲロウ科の一種	1
93	カラスアゲハ	2	135	ウスバフユシャク	1
93	キイロホソガガンボ	2	135	ウスモンミドリカスミカメ	1
93	キバラヘリカメムシ	2	135	ウリハムシモドキ	1
93	キムネクマバチ	2	135	ウンモンズズメ	1
93	キリウジガガンボ	2	135	エグリゴミムシ	1
93	クサギカメムシ	2	135	オオアオイトトンボ	1
93	ゴミムシ	2	135	オオクロバエ	1
93	シバズ	2	135	オオゴモクムシ	1
93	シャクガ科の一種	2	135	オオシモフリスズメ	1
93	ジャコウアゲハ	2	135	オオズケゴモクムシ	1
93	ショウリョウバッタモドキ	2	135	オオホシカメムシ	1
93	セセリチョウ科の一種	2	135	オオミノガ	1
93	ゾウムシ科の一種	2	135	オジロアシナガゾウムシ	1
93	チャドクガ	2	135	オナガササキリ	1
93	ツバメシジミ	2	135	オバボタル	1
93	テントウムシ科の一種	2	135	カナブン	1
93	ナカグロクチバ	2	135	カメノコテントウ	1
93	ニジュウヤホシテントウ	2	135	カメノコハムシ	1
93	ヒゲジロハサミムシ	2	135	カメノコロウムシ	1
93	ヒメクサキリ	2	135	キアシナガバチ本土亜種	1
93	ヒメジュウジナガカメムシ	2	135	キイロシリアゲアリ	1
93	ヒロヘリアオイラガ	2	135	キイロハムシ	1
93	ブドウトリバ	2	135	キノカワヒゲブトハネカクシ	1
93	ホシヒメホウジャク	2	135	キマワリ	1
93	ホソヘリカメムシ	2	135	キョウチクトウアブラムシ	1
93	マエキヒメシャク	2	135	キョトウ亜科の一種	1
93	マメコガネ	2	135	キンバエ	1
93	ムーアシロホシテントウ	2	135	クサカゲロウ科の一種	1
93	ムネアカハラビロカマキリ	2	135	クサキリ	1
93	モリオカメコオロギ	2	135	クサシロキョトウ	1
93	ヨモギエダシャク	2	135	クチバスズメ	1
135	アオオサムシ	1	135	クヌギハケタマバチ	1
135	アオバアリガタハネカクシ	1	135	クモヘリカメムシ	1
135	アオバハゴロモ	1	135	クリオオアブラムシ	1
135	アオヒゲナガトビケラ	1	135	クルマバッタモドキ	1

表 2-1-6 昆虫類：種別報告種の投稿数が多い順 (3/4)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
135	クロオオアリ	1	135	ノコメトガリキリガ	1
135	クロクモヤガ	1	135	ノシメトンボ	1
135	クロヤマアリ	1	135	ハガタクチバ	1
135	コアオハナムグリ	1	135	ハグロハバチ	1
135	コガネムシ科の一種	1	135	ハスモンヨトウ	1
135	コシアキトンボ	1	135	バッタ亜目の一種	1
135	コスカシバ	1	135	ハナアブ科の一種	1
135	コノシメトンボ	1	135	ハラナガツチバチ属の一種	1
135	コブマルエンマコガネ	1	135	ハラヒシバッタ	1
135	コベニスジヒメシャク	1	135	ハリブトシリアゲアリ	1
135	ゴマダラチョウ属の一種	1	135	ヒイラギオオワタムシ	1
135	コロギス	1	135	ヒゲナガカメムシ	1
135	ササキリ属の一種	1	135	ヒシバッタ科の一種	1
135	サザナミスズメ	1	135	ヒナバッタ	1
135	サトクダマキモドキ	1	135	ヒメウラナミジャノメ	1
135	サビキコリ	1	135	ヒメジュウモンジナガカメムシ	1
135	シジミチョウ科の一種	1	135	ヒメナガカメムシ	1
135	シロヒトリ	1	135	ヒメナガメ	1
135	シロヘリカメムシ	1	135	ヒメヒシバッタ	1
135	シロヘリクチブトカメムシ	1	135	ヒメホシカメムシ	1
135	スカシバガ科の一種	1	135	ヒメミノガ	1
135	スグリゾウムシ	1	135	ヒラタゴミムシ亜科の一種	1
135	スジキリヨトウ	1	135	フクラスズメ	1
135	スナゴミムシダマシ	1	135	フタスジヒラタアブ	1
135	セイカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	1	135	フタトガリコヤガ	1
135	センチコガネ	1	135	フローレンスコカゲロウ	1
135	センチクバエ	1	135	ベッコウバエ	1
135	ダイコンアブラムシ	1	135	ベニイトトンボ	1
135	タケノホソクロバ	1	135	ベニスズメ	1
135	チャバネアオカメムシ	1	135	ホシミスジエダシャク	1
135	チョウセンカマキリ	1	135	ホソハリカメムシ	1
135	ツチカメムシ	1	135	ホソハンミョウ	1
135	ツチバチ科の一種	1	135	ホソヒタラアブ	1
135	ツマグロコシボソハナアブ	1	135	ホソミオツネントンボ	1
135	ツマグロヨコバイ	1	135	ホタルハムシ	1
135	トゲアトキリゴミムシ	1	135	ホリカワクシヒゲガガンボ	1
135	トドノネオオワタムシ	1	135	マグラマルハヒロズコガ	1
135	トホシテントウ	1	135	マルガタゴミムシ	1
135	ナカジロシタバ	1	135	マルカメムシ	1
135	ナガヒラタアブ	1	135	マルハナバチ属の一種	1
135	ナカボシカメムシ	1	135	ミカドコオロギ	1
135	ナミスジフユナミシャク	1	135	ミドリキンバエ	1
135	ナミテンアツバ	1	135	ミナミトゲヘリカメムシ	1
135	ニイニイゼミ	1	135	ムネアカセンチコガネ	1
135	ニホンキマワリ	1	135	ムラサキシラホシカメムシ	1
135	ニホンミツバチ	1	135	モモイロキンウワバ	1

表 2-1-7 昆虫類：種別報告種の投稿数が多い順 (4/4)

順位	種名	投稿数
135	モリチャバネゴキブリ	1
135	モンクロシヤチホコ	1
135	ヤガ科の一種	1
135	ヤサイゾウムシ	1
135	ヤドリバエ科の一種	1
135	ヤマトシロアリ	1
135	ヨツボシケンケイスイ	1
135	ヨツボシテントウダマシ	1
135	ヨトウガ	1
135	ヨトウガ亜科の一種	1
135	ヨモギハムシ	1
135	ルリシジミ	1
	種数	288

表 2-1-8 その他：種別報告種の投稿数が多い順

順位	種名	投稿数
1	ジョロウグモ	17
2	ニホンカナヘビ	9
3	ニホンヤモリ	8
4	ベンケイガニ	5
4	アズマヒキガエル	5
4	アメリカザリガニ	5
7	アカミミガメ	3
7	クロベンケイガニ	3
7	アブラコウモリ	3
7	クサグモ	3
7	カメ目の一種	3
12	ヒバカリ	2
12	ミミズ目の一種	2
12	ドブネズミ	2
12	ゴミグモ	2
12	クモ目の一種	2
12	アライグマ	2
12	カダヤシ	2
12	ナメクジ	2
12	ヌマエビ科の一種	2
21	ヒメダカ	1
21	コイ	1
21	タヌキ	1
21	アカネ	1
21	アズマモグラ	1
21	ササグモ	1
21	イオウイロハシリグモ	1
21	ワキグロサツマノミダマン	1
21	ナガコガネグモ	1
21	コガネグモ科の一種	1
21	ウスカワマイマイ	1
21	コウガイビル	1
21	ウヅキコモリグモ	1
21	ヒメタニシ	1
21	ハリガネムシ目の一種	1
21	スジエビ	1
21	アオオニグモ	1
21	アオズムカデ	1
21	ズグロオニグモ	1
21	ヤガタアリグモ	1
21	ネコハエトリ	1
21	ワカバグモ	1
21	タカクワヤスデ	1

順位	種名	投稿数
21	シマヘビ	1
21	アダンソンハエトリ	1
種数		45

(4) 種別の報告種数

前述の 558 種を報告件数順に並べたものが、表 2-1-9～表 2-1-15 である。

上位 10 位の内訳は、植物 5 種、鳥類 4 種、昆虫類 1 種であった。昆虫類は報告件数、報告種数ともに多く、種が分散した傾向にあった。

表 2-1-9 報告件数順 (1/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
1	ヒヨドリ	82	43	トノサマバツタ	16
2	シジュウカラ	75	43	ミズヒキ	16
3	メジロ	46	49	アカボシゴマダラ	15
4	カタバミ	45	50	カナムグラ	14
5	オナガ	44	50	コサギ	14
6	ツユクサ	43	50	ヒガンバナ	14
7	エノコログサ	42	53	カワセミ	13
8	キタキチョウ	40	53	キタテハ	13
9	タンポポ属の一種	39	53	シオカラトンボ	13
9	ノゲシ	39	53	シロツメクサ	13
11	ドクダミ	38	53	ホシハジロ	13
11	ヤブガラシ	38	58	アキアカネ	12
13	モンシロチョウ	37	58	オナガガモ	12
14	ハクセキレイ	36	58	カネタタキ	12
15	オオカマキリ	33	58	コゲラ	12
15	カルガモ	33	58	ショウリョウバッタ	12
15	ムクドリ	33	63	カイツブリ	11
18	ナミアゲハ	32	63	ハハコグサ	11
19	エンマコオロギ	31	63	ハラオカメコオロギ	11
20	キジバト	30	63	マガモ	11
21	ツクツクボウシ	29	67	イチモンジセセリ	10
22	オンブバッタ	28	67	クビキリギス	10
22	ヤマトシジミ	28	67	コハコベ	10
22	ヨモギ	28	67	コバネイナゴ	10
25	オオバコ	25	67	トキワハゼ	10
25	シジミチョウ科の一種	25	67	ナナホシテントウ	10
25	ツマグロヒョウモン	25	67	ヒドリガモ	10
28	クズ	23	74	イボバッタ	9
29	キマダラカメムシ	22	74	ゴイサギ	9
30	キンクロハジロ	21	74	シロテンハナムグリ	9
30	コヒルガオ	21	74	チヂミザサ	9
32	ハラビロカマキリ	20	74	ニホンカナヘビ	9
32	ミンミンゼミ	20	74	ヒメジャノメ	9
34	アブラゼミ	19	80	アオスジアゲハ	8
34	オニタビラコ	19	80	ウラギンシジミ	8
34	スズメ	19	80	コガタスズメバチ	8
34	ナミテントウ	19	80	ジョウビタキ	8
38	スズメノカタビラ	18	80	セスジスズメ	8
38	ダイサギ	18	80	チカラシバ	8
40	ジョロウグモ	17	80	ツメクサ	8
40	ツヅレサセコオロギ	17	80	ニホンヤモリ	8
40	マダラスズ	17	80	ベニシダ	8
43	アオサギ	16	80	ワカケホンセイインコ	8
43	イヌビエ	16	90	アオドウガネ	7
43	オオバン	16	90	オオウンモンクチバ	7
43	カワウ	16	90	キセキレイ	7

表 2-1-10 報告件数順 (2/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
90	コムスジ	7	131	セスジツユムシ	4
90	セイタカアワダチソウ	7	131	ドバト	4
90	チャバネセセリ	7	131	ハネナガイナゴ	4
90	ツグミ	7	131	ヒメハラナガツチバチ本土亜種	4
90	ツチイナゴ	7	131	ヘクソカズラ	4
90	ハシブトガラス	7	131	ヘビイチゴ	4
90	バン	7	131	ホソヒラタアブ	4
90	ヒメアカタテハ	7	131	ヤマガラ	4
101	アオマツムシ	6	131	ヨウシュヤマゴボウ	4
101	エナガ	6	131	ヨコヅナサシガメ	4
101	キアゲハ	6	149	アカスジキンカメムシ	3
101	コガモ	6	149	アカネ属の一種	3
101	ヒカゲチョウ	6	149	アカミミガメ	3
101	ヒメジョオン	6	149	アサガオ	3
101	ベニシジミ	6	149	アジアイトトンボ	3
101	ミツカドコオロギ	6	149	アブラコウモリ	3
101	ミノガ科の一種	6	149	オオスズメバチ	3
101	ムラサキツバメ	6	149	オオブタクサ	3
101	モンキチョウ	6	149	オシロイバナ	3
101	ユリカモメ	6	149	カメ目の一種	3
113	アズマヒキガエル	5	149	キイロテントウ	3
113	アメリカザリガニ	5	149	キマダラセセリ	3
113	アメンボ	5	149	キリギリス属の一種	3
113	ウスバキトンボ	5	149	クサグモ	3
113	ウラナミシジミ	5	149	クマゼミ	3
113	エビガラスズメ	5	149	クルマバッタ	3
113	カメムシ目の一種	5	149	クロウリハムシ	3
113	キクイモ	5	149	クロベンケイガニ	3
113	クサカゲロウ	5	149	コカマキリ	3
113	クロアゲハ	5	149	コミカンソウ	3
113	コセندگانサ	5	149	サトキマダラヒカゲ	3
113	ススキ	5	149	シモフリスズメ	3
113	ツユムシ	5	149	スズメバチ科の一種	3
113	ナツアカネ	5	149	セイバンモロコシ	3
113	ベンケイガニ	5	149	セイヨウミツバチ	3
113	ホシホウジャク	5	149	チョウ目の一種	3
113	マテバシイ	5	149	トンボ目の一種	3
113	モズ	5	149	ナガサキアゲハ	3
131	アレチウリ	4	149	ハラナガツチバチ	3
131	オオスカシバ	4	149	ハリエンジュ	3
131	オオタカ	4	149	ホシササキリ	3
131	カワラヒワ	4	149	ホタルガ	3
131	キンミズヒキ	4	149	ムラサキシジミ	3
131	ギンヤンマ	4	149	ヤブミョウガ	3
131	ジャノヒゲ	4	149	ルリタテハ	3
131	ジャノメチョウ亜科の一種	4	149	ルリチュウレンジ	3

表 2-1-11 報告件数順 (3/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
185	アケビコノハ	2	185	チャドクガ	2
185	アライグマ	2	185	ツバメシジミ	2
185	アレチヌスビトハギ	2	185	ツミ	2
185	イナゴ科の一種	2	185	ツルボ	2
185	イナゴ属の一種	2	185	テントウムシ科の一種	2
185	イヌタデ	2	185	ドブネズミ	2
185	イラガ亜科の一種	2	185	ナカグロクチバ	2
185	イラクサギンウワバ	2	185	ナガミヒナゲシ	2
185	ウグイス	2	185	ナメクジ	2
185	ウバユリ	2	185	ニジュウヤホシテントウ	2
185	エゾギクトリバ	2	185	ヌマエビ科の一種	2
185	エノキグサ	2	185	ノスリ	2
185	オオシオカラトンボ	2	185	ハシボソガラス	2
185	オオミズアオ	2	185	ヒゲジロハサミムシ	2
185	オオヨコバイ	2	185	ヒバカリ	2
185	オヒシバ	2	185	ヒメクサキリ	2
185	ガガイモ	2	185	ヒメジュウジナガカメムシ	2
185	カキノキ	2	185	ヒロヘリアオイラガ	2
185	カダヤシ	2	185	ブドウトリバ	2
185	カマキリ目の一種	2	185	ホオジロ	2
185	カメムシ亜目の一種	2	185	ホシヒメホウジャク	2
185	カラスアゲハ	2	185	ホソヘリカメムシ	2
185	カラスウリ	2	185	マエキヒメシヤク	2
185	カラス属の一種	2	185	マメコガネ	2
185	カンタン	2	185	マルバルコウソウ	2
185	キイロホソガガンボ	2	185	ミミズ目の一種	2
185	キバラヘリカメムシ	2	185	ムーアシロホシテントウ	2
185	キビタキ	2	185	ムネアカハラビロカマキリ	2
185	キムネクマバチ	2	185	ムラサキツメクサ	2
185	キリウジガガンボ	2	185	モリオカメコオロギ	2
185	クサギカメムシ	2	185	ヨモギエダシヤク	2
185	クモ目の一種	2	185	ワルナスビ	2
185	コナラ	2	263	アイビー	1
185	ゴミグモ	2	263	アオオサムシ	1
185	ゴミムシ	2	263	アオオニグモ	1
185	シバズ	2	263	アオギリ	1
185	シマスズメノヒエ	2	263	アオジ	1
185	シヤクガ科の一種	2	263	アオズムカデ	1
185	ジャコウアゲハ	2	263	アオバアリガタハネカクシ	1
185	ショウリョウバッタモドキ	2	263	アオバハゴロモ	1
185	シロハラ	2	263	アオヒゲナガトビケラ	1
185	スダジイ	2	263	アオモンイトトンボ	1
185	セグロセキレイ	2	263	アカジソ	1
185	セセリチョウ科の一種	2	263	アカシマサシガメ	1
185	ゾウムシ科の一種	2	263	アカネ	1
185	チチコグサモドキ	2	263	アカメガシワ	1

表 2-1-12 報告件数順 (4/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
263	アキノエノコログサ	1	263	オカヨシガモ	1
263	アズマネザサ	1	263	オギ	1
263	アズマモグラ	1	263	オジロアシナガゾウムシ	1
263	アダンソンハエトリ	1	263	オッタチカタバミ	1
263	アトリ	1	263	オナガササキリ	1
263	アベリア	1	263	オニドコロ	1
263	アマチャヅル	1	263	オニノゲシ	1
263	アメリカイヌホウズキ	1	263	オバボタル	1
263	アメリカシロヒトリ	1	263	オヤブジラミ	1
263	アメリカタカサブロウ	1	263	カシラダカ	1
263	アメリカハナノキ	1	263	カナブン	1
263	アメリカミズアブ	1	263	カニノツメ	1
263	アリスイ	1	263	カメノコテントウ	1
263	イエバエ	1	263	カメノコハムシ	1
263	イオウイロハシリグモ	1	263	カメノコロウムシ	1
263	イグチ目の一種	1	263	カヤツリグサ	1
263	イセリアカイガラムシ	1	263	カラスノエンドウ	1
263	イソシギ	1	263	カラスビシャク	1
263	イソヒヨドリ	1	263	カラムシ	1
263	イトカメムシ	1	263	カリナアオイゴケ	1
263	イヌホオズキ	1	263	カントウヨメナ	1
263	イヌムギ	1	263	キアシナガバチ本土亜種	1
263	イノコズチ	1	263	キイロシリアゲアリ	1
263	イボタロウムシ	1	263	キイロハムシ	1
263	ウシハコベ	1	263	キジ	1
263	ウスイロササキリ	1	263	ギシギシ	1
263	ウスカワマイマイ	1	263	キノカワヒゲブトハネカクシ	1
263	ウスチャヤガ	1	263	キマダラソウ	1
263	ウスバカゲロウ科の一種	1	263	キマワリ	1
263	ウスバフユシヤク	1	263	キョウチクトウアブラムシ	1
263	ウスモンミドリカスミカメ	1	263	キョトウ亜科の一種	1
263	ウツキコモリグモ	1	263	キンエノコロ	1
263	ウマノアシガタ	1	263	キンバエ	1
263	ウラジロチチコグサ	1	263	クコ	1
263	ウリハムシモドキ	1	263	クサカゲロウ科の一種	1
263	ウンモンズメ	1	263	クサキリ	1
263	エグリゴミムシ	1	263	クサシロキョトウ	1
263	エノキ	1	263	クサネム	1
263	オオアオイトトンボ	1	263	クスノキ	1
263	オオアレチノギク	1	263	クチバスズメ	1
263	オオクロバエ	1	263	クヌギ	1
263	オオゴモクムシ	1	263	クヌギハケタマバチ	1
263	オオシモフリスズメ	1	263	クモヘリカメムシ	1
263	オオズケゴモクムシ	1	263	クリ	1
263	オオホシカメムシ	1	263	クリオオアブラムシ	1
263	オオミノガ	1	263	クルマバッタモドキ	1

表 2-1-13 報告件数順 (5/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
263	クロオオアリ	1	263	センダングサ属の一種	1
263	クロクモヤガ	1	263	センチコガネ	1
263	クロヤマアリ	1	263	センチニクバエ	1
263	ケヤキ	1	263	センニンソウ	1
263	コアオハナムグリ	1	263	ダイコンアブラムシ	1
263	コイ	1	263	タカクワヤスデ	1
263	コウガイビル	1	263	タケノホソクロバ	1
263	ゴウシュウアリタソウ	1	263	タヌキ	1
263	コガネグモ科の一種	1	263	チャノキ	1
263	コガネムシ科の一種	1	263	チャバネアオカメムシ	1
263	コシアキトンボ	1	263	チョウセンカマキリ	1
263	コスカシバ	1	263	ツチカメムシ	1
263	コノシメトンボ	1	263	ツチバチ科の一種	1
263	コブマルエンマコガネ	1	263	ツマグロコシボソハナアブ	1
263	コベニスジヒメシヤク	1	263	ツマグロヨコバイ	1
263	ゴマダラチョウ属の一種	1	263	トウネズミモチ	1
263	コマツヨイグサ	1	263	トゲアトキリゴミムシ	1
263	コムラサキ	1	263	トドノネオオワタムシ	1
263	コロギス	1	263	トホシテントウ	1
263	ササキリ属の一種	1	263	ナガコガネグモ	1
263	ササグモ	1	263	ナカジロシタバ	1
263	サザナミスズメ	1	263	ナガバギンギシ	1
263	サトクダマキモドキ	1	263	ナガヒラタアブ	1
263	サビキコリ	1	263	ナカボシカメムシ	1
263	シジミチョウ科の一種	1	263	ナツツタ	1
263	シマヘビ	1	263	ナミスジフユナミシヤク	1
263	ジュズダマ	1	263	ナミテンアツバ	1
263	シラカシ	1	263	ナンキンハゼ	1
263	シロテングダケ	1	263	ニイニイゼミ	1
263	シロヒトリ	1	263	ニシキソウ	1
263	シロヘリカメムシ	1	263	ニホンキマワリ	1
263	シロヘリクチブトカメムシ	1	263	ニホンミツバチ	1
263	スイバ	1	263	ニリンソウ	1
263	スカシバガ科の一種	1	263	ヌスビトハギ	1
263	スギタケ	1	263	ネコハエトリ	1
263	スグリゾウムシ	1	263	ネジバナ	1
263	ズグロオニグモ	1	263	ノコメトガリキリガ	1
263	スジエビ	1	263	ノササゲ	1
263	スジキリヨトウ	1	263	ノシメトンボ	1
263	スズガモ	1	263	ノビル	1
263	スナゴミムシダマシ	1	263	ハイタカ	1
263	スバリヒユ	1	263	ハガタクチバ	1
263	セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	1	263	ハキダメギク	1
263	セイヨウタンポポ	1	263	ハグロソウ	1
263	セッカ	1	263	ハグロハバチ	1
263	ゼニアオイ	1	263	ハシビロガモ	1

表 2-1-14 報告件数順 (6/7)

順位	種名	投稿数	順位	種名	投稿数
263	ハスモンヨトウ	1	263	ホソハリカメムシ	1
263	ハゼノキ	1	263	ホソハンミョウ	1
263	ハゼラン	1	263	ホソヒタラアブ	1
263	バッタ亜目的一种	1	263	ホソミオツネントンボ	1
263	ハト	1	263	ホタルハムシ	1
263	ハト科的一种	1	263	ホリカワクシヒゲガガンボ	1
263	ハナアブ科的一种	1	263	マグラマルハヒロゾコガ	1
263	ハナタデ	1	263	マツバラン	1
263	ハヤブサ	1	263	マヒワ	1
263	ハラナガツチバチ属的一种	1	263	マミチャジナイ	1
263	ハラヒシバッタ	1	263	マルガタゴミムシ	1
263	ハリガネムシ目的一种	1	263	マルカメムシ	1
263	ハリプトシリアゲアリ	1	263	マルハナバチ属的一种	1
263	ハルジオン	1	263	ミカドコオロギ	1
263	ヒイラギオオワタムシ	1	263	ミズタマソウ	1
263	ヒゲナガカメムシ	1	263	ミドリキンバエ	1
263	ヒシバッタ科的一种	1	263	ミナミトゲヘリカメムシ	1
263	ヒナタイノコヅチ	1	263	ムカゴイラクサ	1
263	ヒナバッタ	1	263	ムクノキ	1
263	ヒメウラナミジャノメ	1	263	ムネアカセンチコガネ	1
263	ヒメオドリコソウ	1	263	ムラサキケマン	1
263	ヒメジュウモンジナガカメムシ	1	263	ムラサキシキブ	1
263	ヒメダカ	1	263	ムラサキシラホシカメムシ	1
263	ヒメタニシ	1	263	メヒシバ	1
263	ヒメツルソバ	1	263	メボソムシクイ	1
263	ヒメナガカメムシ	1	263	モモイロキンウワバ	1
263	ヒメナガメ	1	263	モリチャバネゴキブリ	1
263	ヒメヒシバッタ	1	263	モンクロシャチホコ	1
263	ヒメホシカメムシ	1	263	ヤエムグラ	1
263	ヒメミノガ	1	263	ヤガタアリグモ	1
263	ヒメムカシヨモギ	1	263	ヤガ科的一种	1
263	ヒヨドリジョウゴ	1	263	ヤサイゾウムシ	1
263	ヒラタゴミムシ亜科的一种	1	263	ヤツデ	1
263	ヒルガオ	1	263	ヤドリバエ科的一种	1
263	ピンオーク	1	263	ヤナギイノコヅチ	1
263	フクラスズメ	1	263	ヤブタバコ	1
263	フタスジヒラタアブ	1	263	ヤブツバキ	1
263	フタトガリコヤガ	1	263	ヤブマメ	1
263	フヨウ	1	263	ヤブラン	1
263	フラサバソウ	1	263	ヤマシギ	1
263	プラタナス	1	263	ヤマトシロアリ	1
263	フローレンスコカゲロウ	1	263	ヤマノイモ	1
263	ベッコウバエ	1	263	ユリノキ	1
263	ベニイトトンボ	1	263	ヨシ	1
263	ベニスズメ	1	263	ヨツボシケンシキスイ	1
263	ホシミスジエダシヤク	1	263	ヨツボシテントウダマシ	1

表 2-1-15 報告件数順 (7/7)

順位	種名	投稿数
263	ヨトウガ	1
263	ヨトウガ亜科の一種	1
263	ヨメナ	1
263	ヨモギハムシ	1
263	ルリシジミ	1
263	レッドオーク	1
263	ワカバグモ	1
263	ワキグロサツマノミダマシ	1
種数		558

(5) 地域別の報告種

区全域を、板橋地域、赤塚地域、高島平地域、志村地域、常盤台地域の5地域に区分し、地域別の種別報告件数順に並べたものを資料編に示す。

なお、いきものを確認した場所が「石神井川」等、複数の地域にまたがる投稿については、地域を特定できないため、本集計からは除外した。

また、後述のニューズレター及びパネルには、上位5種を掲載した。

2-2. 自然観察会及び報告会（パネル展）

(1) 自然観察会

9月、11月に各1回、区民を対象とした自然観察会を実施した。それぞれの概要を以下に示す。

なお、観察会の実施にあたっては、事前に現地確認を行い、参加者の安全管理に十分配慮するとともに、参加者が怪我等を負った場合等に備えて、受託者で保険に加入した。

また、新型コロナウイルス感染予防の観点から、手指の消毒用のアルコールを用意し、参加者間での観察器具の受け渡し禁止を徹底した。

① 第1回自然観察会

場所：区立荒川戸田橋緑地 生物生態園

開催日時：令和2年9月27日（日） 10：10-12：10

参加者数：22名

観察した生き物：18目33科52種（表2-2-1、2参照）



写2-2-1 第1回自然観察会実施状況

表 2-2-1 第 1 回自然観察会 確認種一覧 (1/2)

NO.	目名	科名	種和名	備考	
1	十脚目	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	東京都 RDB 留意種 (区部)	
2	トンボ目	イトトンボ科	アジアイトトンボ		
3		トンボ科	シオカラトンボ		
4			アキアカネ		
5	バッタ目	コオロギ科	ハラオカメコオロギ		
6			エンマコオロギ		
7		ヒバリモドキ科	シバズ		
8			マダラスズ		
9		キリギリス科	ホシササキリ		
10			ウスイロササキリ		
11			ツユムシ		
12		キリギリス科	クビキリギス		
13		カンタン科	カンタン		
14		バッタ科	ショウリョウバッタ		
15			トノサマバッタ		
16			イボバッタ		
17			コバネイナゴ		
18		オンブバッタ科	オンブバッタ		
19		ヒシバッタ科	ハラヒシバッタ		
20		カマキリ目	カマキリ科	オオカマキリ	
21				コカマキリ	
22				ハラビロカマキリ	
23		アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クサカゲロウ科の一種	
24	チョウ目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ		
25		シロチョウ科	キタキチョウ		
26			モンシロチョウ		
27		シジミチョウ科	ベニシジミ		
28			ヤマトシジミ		
29		タテハチョウ科	ヒメアカタテハ		

表 2-2-2 第 1 回自然観察会 確認種一覧 (2/2)

NO.	目名	科名	種和名	備考
30	コウチュウ目	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	
31		コガネムシ科	マメコガネ	
32			コアオハナムグリ	
33			アオドウガネ	
34	原始紐舌目	タニシ科	ヒメタニシ	
35	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	特定外来生物、重点対策外来種
36	ペリカン目	サギ科	アオサギ	
37	スズメ目	モズ科	モズ	
38		スズメ科	スズメ	
39		アトリ科	カワラヒロ	
40		カラス科	オナガ	
41	ネコ目	アライグマ科	アライグマ	足跡、特定外来生物、緊急対策外来種
42	イネ目	イネ科	チカラシバ	
43			ヨシ	
44			セイバンモロコシ	その他の総合対策外来種
45	イラクサ目	アサ科	カナムグラ	
46	ウリ目	ウリ科	アレチウリ	特定外来生物、緊急対策外来種
47	ブドウ目	ブドウ科	ヤブカラシ	
48	マメ目	マメ科	ハリエンジュ	適切な管理が必要な産業上重要な外来種
49			クサネム	
50			クズ	
51	キク目	キク科	キクイモ	一般外来種
52			アメリカタカサブロウ	一般外来種
	18 目	33 科	52 種	

② 第2回自然観察会

場所：都立浮間公園

開催日時：令和2年11月28日（土） 10:00-11:30

参加者数：9名

観察した生き物：9目16科27種（表2-2-3参照）



写2-2-2 自然観察会（2回目）実施状況

表 2-2-3 自然観察会（2回目）確認種一覧

No.	目名	科名	種名	重要種※2			
				①	②	③	④
1	カモ目	カモ科	ヒドリガモ				
2			マガモ				
3			カルガモ				
4			オナガガモ				
5			ホシハジロ				
6			キンクロハジロ				
7			スズガモ				*
8	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ				NT
9	ハト目	ハト科	ドバト				
10	カツオドリ目	ウ科	カワウ				
11	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ				
12			アオサギ				
13			ダイサギ				VU
14			コサギ				VU
15	ツル目	クイナ科	バン				VU
16			オオバン				VU
17	タカ目	タカ科	ハイタカ※1			NT	EN
18	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ				VU
19	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス				
20			ハシブトガラス				
21		シジュウカラ科	シジュウカラ				
22		ヒヨドリ科	ヒヨドリ				
23		ムクドリ科	ムクドリ				
24		ヒタキ科	ツグミ				
25		スズメ科	スズメ				
26		セキレイ科	ハクセキレイ				
27		アトリ科	カワラヒワ				
計		9 目	16 科	27 種	0 種	0 種	1 種

※1 観察会当日の下見中に確認

※2 重要種の選定根拠

- ① 「文化財保護法」指定種
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」指定種
- ③ 「環境省レッドリスト2020」選定種 【CR:絶滅危惧 IA 類、EN:絶滅危惧 IB 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足】
- ④ 「レッドデータブック東京 2013」選定種 【CR:絶滅危惧 IA 類、EN:絶滅危惧 IB 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、*:留意種】

(2) 報告会 (パネル展)

自然・いきものががしの調査結果や参加者が撮影した写真、自然観察会の様子等について、パネルを作成し、以下のとおり報告会 (パネル展) を行った。

作成したパネルはB1 サイズ3枚、A1 サイズ9枚とし、全てフルカラー、フレーム入りとした。

場所：板橋区役所1階プロモーションコーナー

開催日時：令和3年3月22日(月)～29日(月)



写 2-2-3 報告会 (パネル展) の実施状況



①報告会タイトル (A1)

②集計結果上位15位まで (B1)

図 2-2-1 作成したパネル (1/3)



③集計結果上位 50 位まで (B1)

④地区別ランキング (B1)



⑤自然観察会の様子 (A1)

図 2-2-2 作成したパネル (2/3)



⑥区内で確認された希少種 (A1)



⑦区内で確認された外来種 (A1)



⑧区内で確認された注目種 (A1)



⑨報告写真の紹介 (昆虫類) (A1)



⑩報告写真の紹介 (鳥類) (A1)



⑪報告写真の紹介 (植物) (A1)



⑫報告写真の紹介 (その他) (A1)

図 2-2-3 作成したパネル (3/3)

2-3. ニュースレターの作成及び発送

自然・いきものがし事業の調査結果等をまとめたニュースレターを作成した。ニュースレターは、A3版、2つ折り両面、フルカラー、1,000部とし、自然・いきものがし及び自然観察会の参加者へ発送した。



図 2-3-1 ニュースレター (上段 P1・4、下段 P2・P3)

2-4. 環境省「いきものログ」の活用

参加者から得られたデータを以下のように抽出し、入力データを作成した。なお、詳細な入力データは資料編に示す。

- ・2,714 件 (558 種) のうち、2,711 件について登録した。3 件は、分類群までは推測できるものの記載されたいきもの名前に該当する種名がない、「むし」とだけ記載されており写真が添付されておらず判別不能、記載されたいきもの名前に同名の植物・昆虫類が存在するとの理由で登録しなかった。
- ・いきものログでは「生物名データベース」に合わせた種名に統一する必要がある、「生物名データベース」に登録されていない種名については以下のように入力内容を変更した。
- ・「生物名データベース」では、一部の種を除いて属名や亜科名が登録されていない。従って、属名や亜科名まで把握されている種であっても、目名や科名の入力にとどめた。
- ・いきものログでは、住所または3次メッシュで位置情報を入力する。本年度は、確認された住所をもとに登録を行った。番地まで記載されていない場合は町名で入力し、「石神井川」等の川名で記載されていた場合は、複数の町名・3次メッシュにまたがる場合は「東京都板橋区」と入植した上、補足情報として川名を入力した。

【鳥類】

カラス属の一種→カラス科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

【魚類】

ヒメダカ→メダカ属 (品種名で入力できず、属名で入力した。)

【昆虫類】

アカネ属の一種→トンボ科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

アカボシゴマダラ→アカボシゴマダラ大陸亜種

イナゴ属の一種→バッタ科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

イラガ亜科の一種→イラガ科 (亜科名で入力できず、科名で入力した。)

カメムシ亜目の一種→カメムシ目 (亜目名で入力できず、目名で入力した。)

キリギリス属の一種→キリギリス科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

キョトウ亜科の一種→ヤガ科 (亜科名で入力できず、科名で入力した。)

クビキリギス→クビキリギリス

コバネイナゴ→エゾイナゴ

ゴマダラチョウ属の一種→タテハチョウ科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

ジャノメチョウ亜科の一種→ジャノメチョウ科 (亜科名で入力できず、科名で入力した。)

ササキ属の一種→キリギリス科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

バッタ亜目の一種→バッタ目 (亜目名で入力できず、目名で入力した。)

ハラナガツチバチ属の一種→ツチバチ科 (属名で入力できず、科名で入力した。)

ヒメハラナガツチバチ本土亜種→ヒメハラナガツチバチ

ヒラタゴミムシ亜科の一種→オサムシ科（亜科名で入力できず、科名で入力した。）

マルハナバチ属の一種→ミツバチ科（属名で入力できず、科名で入力した。）

【クモ類】

アダソンハエトリ→ハエトリグモ科（種名で登録できず、科名で入力した。）

ネコハエトリ→ハエトリグモ科（種名で登録できず、科名で入力した。）

【植物】

シロツメクサ→オオシロツメクサ

センダングサ属の一種→キク科（属名で入力できず、科名で入力した。）

タンポポ属の一種→キク科（属名で入力できず、科名で入力した。）

2-5. アライグマ・ハクビシンマップの作成

区からアライグマ・ハクビシンの被害件数の提供を受け、マップにとりまとめた。
被害件数はアライグマ 16 件、ハクビシン 42 件で、アライグマは舟渡地域で 4 件と被害が一番多かった。ハクビシンは、熊野地域、大谷口地域、舟渡地域を除く全域で被害が確認された。

表 2-5-1 区より提供を受けたアライグマ、ハクビシンの被害件数

	地域	アライグマ	ハクビシン	町名(参考)
1	板橋		4	板橋、加賀
2	熊野			大山東町、大山金井町、熊野町、中丸町、南町
3	仲宿		4	稲荷台、仲宿、氷川町、栄町
4	仲町	2	2	中板橋、弥生町、仲町、大山町、大山西町、幸町
5	富士見		4	本町、大和町、富士見町、双葉町
6	大谷口			大谷口北町、大谷口上町、大谷口、向原
7	常盤台	1	2	常盤台、南常盤台、上板橋
8	清水		6	蓮沼町、大原町、泉町、宮本町、清水町
9	志村坂上		3	小豆沢、志村
10	中台	2	2	中台、若木、西台
11	蓮根		2	蓮根、坂下、東坂下、相生町
12	舟渡	4		舟渡
13	前野		3	前野町
14	桜川	2	3	桜川、東新町、東山町、小茂根
15	下赤塚	3	2	赤塚、赤塚新町、四葉、大門
16	成増	1	2	成増、三園
17	徳丸		1	徳丸
18	高島平	1	2	高島平、新河岸
	計	16	42	



図 2-5-1 アライグマ・ハクビシンの被害件数マップ (左:アライグマ、右:ハクビシン)